

雨に強いまちを目指して…

雨水をためる
しみこませる



ご家庭でできる浸水対策！ 雨水貯留・浸透施設

雨水浸透ます

1建築物につき上限4基

雨水を穴の開いたますから地中にしみこませます！
設置は京都市指定下水道工事業者に相談を！

〈助成額〉

新設

1基につき **25,000円**

取り替え

1基につき

設置工事費用 上限70,000円

付帯工事費用 上限30,000円



雨どい
一部分に
助成を行います。

不透水シート

透水性シート



必ず購入、設置前に
ご相談ください！

問い合わせ

下水道部管理課排水設備担当

TEL 075-672-7822

FAX 075-682-2707

詳しくは
こちら▶



タンくん

雨水貯留タンク

雨どいから分岐器具によりリタンクに流入させ貯めます！貯めた雨水は「打ち水」等に有効活用！ ※郵送手続可

〈助成額〉

購入費用及び設置工事費用の
4分の3で

上限37,500円

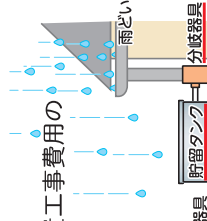
※うち、設置工事費用は

上限10,000円

1建築物につき

上限4基

一部分に
助成を行います。



分岐器具

貯留タンク

蛇口

排水

助成

都市化に伴い、多くの土地がアスファルトやコンクリートに覆われているため、大雨が降ると地中に浸透せず、水路や下水道が溢れやすくなっています。

上下水道局では、雨水を貯める施設をつくり、浸水被害を軽減させています。



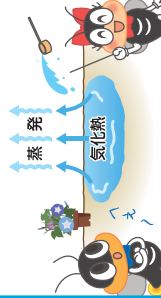
雨水貯留施設

ずみとと
ひかりの日常

「打ち水」



「打ち水」は、水が蒸発する時に周りの熱を奪う「気化熱」を利用して、気温を下けているのよ



※令和元年8月1日の実施結果

下水道90周年

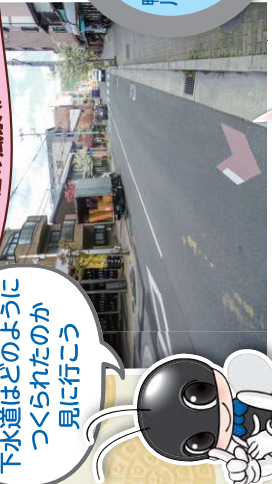
京都のまちと暮らしを支えています！



下水道事業は、下水道第1期工事が始まった昭和5年(1930年)から90周年を迎えました！

普段見えない下水道はどのようにつくられたのか見に行こう

現在の風景(川端二条東入り)



川端と
澄都くん
(周年限定バージョン)

衛生的で快適なくらはしは
ずっと前から
支えられて
いるんだね



昭和30年代(1955～1964年)の工事風景

ひかりちゃん
(周年限定バージョン)

90周年豆知識

90年間で整備された下水道管を全部つないだ総延長は約**4,200km**！
京都からタイのバンコクまでとほぼ同じ！



市民しんぶん8月15日号読み込み版でも
下水道90周年を特集するよ！
8月15日頃ホームページでも公開予定！

